

インターバンクの声（2017 年 3 月 8 日）

昨夜の海外市場は米国の 1 月の貿易収支くらいしか目立つ材料が見当たらなかったが、予想外のニュースが飛び込んで来ることもなく、ロンドン市場からニューヨーク市場の終盤まで、ドル円の高値と安値の値幅が 30 銭にも満たない穏やかな相場に終始した。

その米国の貿易収支に対する市場の反応もやや不可思議で、全体の貿易赤字は予想より拡大したにも関わらず若干ながらドルが買われた。赤字額が昨年 12 月より減少したことに反応したとも思えず、数字のブレが予想の範囲内だったとの解釈だったのだろう。

日米金利差の拡大も意識されていたらしいが、米 10 年債利回りにしても 2.50% 台に戻ってきたものの大幅に拡大したわけでもない。積極的な市場参加者が少ないことも動きが穏やかな原因だろう。

今日から週末までは米雇用統計を中心に複数の経済指標の発表予定もあり、週前半に比べれば多少なりとも刺激がある相場展開を期待したい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。